

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(統計)	コード	作成者	役職	企画課長
		06-01-11	氏名	里見清美	
			電話	64-1871	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政改革
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	統計調査業務は、直接市民には影響しないが、その結果は、国や地方公共団体がいろんな施策に活用している。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	統計調査では、調査員による調査票の回収が難しくなっている。調査対象者に様々な行政施策のための基礎資料となることを理解してもらい、より多くの調査票回収を進める必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査員の確保</li> <li>市の統計書の作成</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

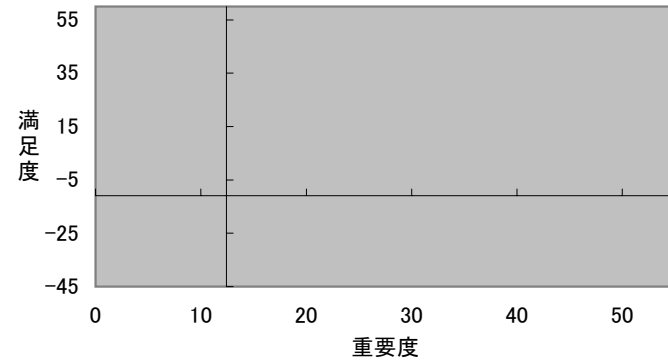
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	統計調査事業に関する市民の反応は少ない。ただ、個人情報保護法の施行以来、調査対象者の中には情報提供に敏感になっている方も増えてきており、調査票の回収に支障を来す例が生じてきている。
---------------------	----------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23			
1 統計調査は、国の委託事業であり、年ごとに統計調査の内容が異なることから、数値目標はない。	目標 実績 達成率 %								
2	目標 実績 達成率 %								
3	目標 実績 達成率 %								
4	目標 実績 達成率 %								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費			
				H17			H18			H19						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1 統計事業	C	就業構造基本調査	法定事務							684	718	0.08	☆☆☆	\$\$\$	0	
		全国物価統計調査	法定事務							194	200	0.02	☆☆	\$\$	0	
		住宅・土地統計調査調査区単位設定	法定事務							446	618	0.07	☆☆	\$\$\$	0	
		工業統計調査事務	法定事務							456	818	0.09	☆☆☆	\$\$\$	667	
		商業統計調査事務	法定事務							1,039	1,119	0.12	☆☆	\$\$	0	
		商業動態統計調査事務	法定事務							233	0	0.00	☆☆	\$\$	0	
		事業所・企業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定事務	48			1,997	2,095								
		工業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定事務	632			509	1,072								
		商業統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定事務				10	730	0.63							
		商業動態統計調査事務(備前・日生・吉永)	法定事務		6,785	0.99	168	116								
		国勢調査	法定事務	18,220												
		農林業センサス事務	法定事務	148												
		備前市の統計等作成事務	内部管理	47			4	972	0.12		0	1,501	0.15	☆☆	\$\$	0
		岡山県農林統計協会負担金事務	内部管理	21	60	0.01	24	0			24	0	0.00	☆☆	\$\$	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)									
				19,116	6,845	1.00	2,712	4,985	0.75	3,076	4,974	0.53	667			

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	2	統計調査事業は、事故もなく実施できた。市の統計書の作成も、今後も継続して実施していく。	3	予定通り実施できた。
2 事業構成の適当性	2	統計調査事業は、国の委託事業である。	3	国からの委託事業である。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	2	調査結果を施策に反映させていくことが重要である。	3	各種施策の展開にデータを活かしていく必要がある。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	統計調査事業は、国の委託事業であり、引き続き実施しなければならない。統計調査員を登録制にすることを、他市の動向等も見極めながら、今後さらに検討する必要がある。市の統計書についても、今後の市の各種の施策運営のためにも重要なものでありますので、引き続き作成する必要があります。		統計データの活用を各担当に指導すること。	
二次評価者コメント 役職 総務部長 氏名 森山 純一	定型的な統計調査事務であるが、そのデータ活用により、各種施策の有効な展開を図ることができる。また、統計データの有効利用を積極的に進めていく必要がある。			基本施策への貢献度 <b>3中立</b>